墨田区議会だより
第6号
発行　昭和51年4月20日
発行所　墨田区議会事務局
〒130　墨田区横網一の6-1
電話　626—3151（大代表）

第一回定例会

新年度予算決まる

総額二百十七億八千余万円

新年度の予算を審議する第一回定例会は、三月九日に招集され、三月三十一日までの二十三日間にわたって開かれました。この会議では、区長から区政運営について所信表明があり、これに対し八名の議員から一般質問が行われたほか、総額二百十七億八千余万円におよぶ新年度予算をはじめとする26件の議案、7件の請願・陳情と、2件の意見書などが議決されました。また、急逝した田中増蔵副議長の後任をきめる選挙も行われました。

墨田区議会の昭和五十一年第一回定例会は、さる三月九日に開会され、第一日目の九日に山崎区長から、区政運営の方針説明が行われました。

この中で、区長は、区政を取りまく諸情勢、区財政の苦しい現状ときびしい見通し、五十一年度予算の編成方針と、予算の概要、今後の区政運営の方針などについて述べています。

これに対し、自民党三名、公明党一名、共産党二名、社会党一名、民社党一名、計八名の議員から、十一日・十二日の二日間にわたって、防災対策、社会福祉対策、教育問題、中小企業対策等にわたって、一般質問が行われ、山崎区長と江川教育長から、それぞれについて答弁がありました。（一般質問の要旨は二面に掲載しています。）

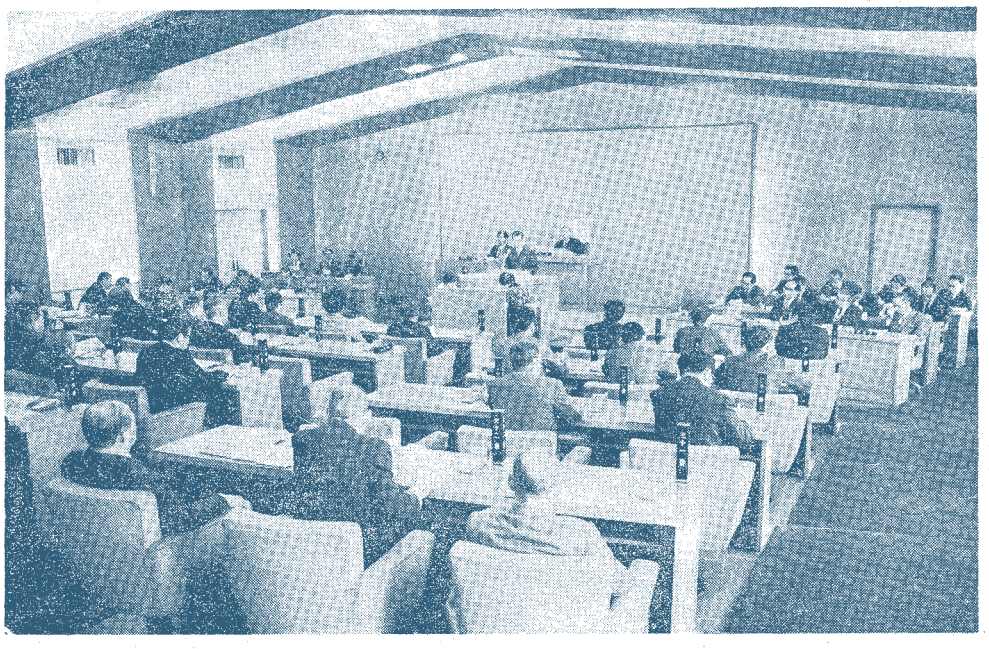
そのあと、昭和五十一年度予算を審議するため、二十名の議員による予算特別委員会を設置しました。

本会議は十三日から休会に入り、その間に予算特別委員会をはじめ、四つの常任委員会が次々に開会され、区長から提案された議案や請願・陳情などが、その委員会の中で審査されました。特に予算特別委員会では、四日間にわたって区の昭和五十一年度予算の審議が行われ、この審議の中で、各党の意見が明らかにされました。

最終日の三十一日に開かれた本会議では、休会中に各委員会で審議された議案、請願、陳情などが議決されたほか、議員から提案された意見書も可決しました。また、さる三月十四日に急逝した田中副議長に対する追悼演説も行われ、後任副議長を選出する選挙の結果、湯本令二議員が新副議長に選ばれました。

交通対策特別委員会副委員長かわる

定例会最終日の三月三十一日に、交通対策特別委員会の副委員長が改選され、新しい副委員長には、田中左内委員が選ばれました。



所信表明をする山崎区長（三月九日、本会議場）

予算特別委員会名簿

◎委員長　○副委員長

◎松野緑之助　○青山　政雄
青木　良平　初沢　英夫
小早川恵子　西　恭三郎
石橋　正夫　柴田　昌男
湯本　令二　村瀬　政幸
樋口　丈吉　沖山　満
矢口甲子夫　寒川　直
矢野　真治　山崎　政吾
吉田武三郎　青木　政最
甚野　緑　森下三七人

五十一年度予算　わが党はこう考える

自由民主党

賛成　この予算では、防災対策として「燃えない町づくり」のための基本調査を始めるなど災害防止に対する並々ならぬ意欲がうかがわれ、緑化対策を含めた環境整備にも、数々の新しい事業が加えられている。また区民の要望に一つ一つ応える福祉施策として、敬老入浴デーの実施など、きめ細かい配慮の跡がみられる。これらは、区長の基本方針である「安全、快適、豊かな町づくり」のための生きた施策として、区長の努力に敬意を表すると共に高く評価する。

この予算の執行にあたってはさらに行政効果が高まるように努力していただきたい。

公明党

賛成　〝財政戦争〟といわれる地方自治体始まって以来の危機のなか、昨年比一〇・五％増という健全財政は、一応評価できる。わが党がかねてから主張してきた「敬老ニコニコ入浴デー」の実現をはじめ、心身障害者の方々に「祝金」「弔慰金」の支給、また「協業化等促進資金貸付」の発足など、福祉、中小企業対策にユニークな施策が見られる。しかし、防災対策の総合的促進、幼稚園、保育園の増設、夜間、休日診療所の新増設、その他わが区の課題は山積している。今後も、財源の確保緻密な計画、区民本位の姿勢に全力をあげて努力してほしい。

共産党

反対　乏しい財政の中で二百十七億円余の予算を組んでいるが総花的で、不況とインフレに悩む区民の切実な要求に真にこたえたものとなっていない。保育所や老人施設の建設も見送り折角墨田区の特色を考えての協業化促進も実効性を欠き、人気とりの宣伝予算である。もっとも緊急を要する防災対策も、精神面の強調でごまかしている。

とくに区財政の危機打開については、区民税、国保料の均等割の三倍～四倍化、使用料、手数料の値上げで区民に負担を押しつけ、本来国が支出すべき超過負担の解消にも見るべきものがない。

社会党

賛成　区行政予算は、区民の信託に応えて最小の費用で最大の効果を図り、区民生活を保護し生活環境を保全することこそ区政の根幹的使命と考えます。しかし政府自民党の経済政策の失敗からきた経済不況のため、前年度とほぼ同額の区財政は、主として福祉重点と防災、町の美化等を組入れた新予算が成立しました。我が党は将来を展望し、今日、明日を求める住民の声と結合した政策に重点を置き六月補正以降は住民に還元する投資的予算とし、言葉だけでなく実行面で、安全で快適、豊かな街づくりの実現に向って全力投球してゆきます。

民社党

賛成　区政の基本である防災対策、福祉対策、中小企業対策などにきめこまかな配慮がなされていることに敬意を表する。特に救護担架の全町会配備は思いきった対策である。しかし心身障害児のための養護学校を区内に建設することに予算上熱意がみられないのは残念であり、調査費だけでも計上すべきである。今日の物価高の中ではあるが小中学校の給食費値上げ問題については、今後も十分な検討を望みたい。また、当区では非行少年が増えているが、青少年対策についてもっと予算をさくべきであった。新年度予算は大綱において賛成である。

請願・陳情

採択となったもの

◇住宅修築資金融資あっせん制度新設に関する請願
◇墨田区精神障害者家族会（すみだ会）への助成金交付に関する請願
◇蒸気機関車の区内展示を求める請願
◇東武線玉ノ井駅周辺（東側）自転車置場設置に関する陳情

不採択となったもの

◇老人医療費有料化反対に関する請願
◇訪問看護婦に関する助成制度確立を求める請願

一部採択・一部不採択となったもの

◇融資制度の拡充・改善に関する請願

意見書・陳情書（要旨）

都知事　都交通局長　あて

◎都営交通事業の存続に関する意見書

都営交通存続のため、国庫負担増額、運賃の適正化、経営の合理化を検討し、合せて地下鉄十二号線早期実現、バス路線網の確保・整備充実を要望します。

◎国鉄運賃、電話、電報等の公共料金の大幅値上げに反対する意見書

公共料金の大幅値上げに反対し、物価の高騰から住民の生活を守る対策を強力に推進されるよう強く要望します。

内閣総理大臣　大蔵、郵政、運輸各大臣　国鉄総裁　あて

◎錦糸町駅北口設置等に関する陳情書

錦糸町駅の乗降口は、南側一か所で不便です。北側に乗降口とバスターミナルの設置をお願いします。

運輸大臣　国鉄総裁　千葉鉄道管理局長　あて

一般質問

八議員　今後の区政運営は

主任制度、防災、商工対策などをきく

問　文部省は調和のとれた教育を進めるため、省令を改正し、三月一日から主任制度を設けることにしたが、都教委は三月一日実施を見送った。校長を中心に校務運営を円滑にするために職務と責任に応じた手当を支給するよう早急に主任制度を実施すべきだと思うがどうか。

答　区が実施するためには、主任の範囲、任命の方法、手当の予算化等が必要であるが、これらは都の権限であり、区としては都の基本的態度を見ながら決めていきたいと考えている。

問　教育長は、主任制度によって本当に調和のとれた教育ができると思っているのか。

答　文部大臣は、主任制度により指導面が強化され、調和のとれた教育ができるといっている。

防災対策について

問　震災時における危険度は、当区が最高の「四」にランクされている。

今後の防災対策が一段と強化されなければならないが、「燃えない街づくり基本調査」は、区を危険地帯として都に指定させるためのものなのか。

答　そのとおりである。都がその危険度を参考にして、早く当区を危険地帯として指定してくれるよう都に対し要請するためと、街の不燃化をはかるため公共資本等の有効な導入を図るための資料とするものである。

問　四つ目通りなど区内を通るいくつかの道路は、都が前から拡幅する計画をたてていたものであるが、今だに手がつけられていない。家屋の不燃化をするにもこの計画が障害となっている。区長は都や国に対し何らかの手だてをうっているのか。

答　都では、現在実態調査をしており、三月末までに完了の予定であるといっている。その後委員会を設けて検討の上、地域住民と話し合い可能な限り早く結論をだしたいといっている。

電算導入によるメリットは

問　電算機の導入により行政が簡素化されたというが、一方ではプライバシーの問題もある。個人の秘密を侵す恐れはないかまた、導入したことによってどんなメリットがあったのか。

答　プライバシーの問題については管理を厳重にやっているので心配はない。導入によるメリットとしては、臨時職員の減員や正規職員の時間外減少などがあげられる。それ以外にも有形無形のメリットがある。

厚生会館にエレベーターを

問　身障者の利便をはかるためすみだ厚生会館の中にエレベーターを設置する考えはないか。

答　身障者といってもいろいろあるし、建物も狭い。また厚生会館のあり方ということにも問題がありなかなかむずかしい。

老人問題については、将来老人を含めた保養施設を考えていきたいと思っている。

大手ストアの進出について

問　東武曳舟駅の中に大手ストアが進出する計画がある。このような大手ストアの進出は、付近の商店街に対し壊滅的な打撃を与えることは明らかである。区は、ストアの進出を断念するよう交渉すべきではないか。

答　基本的には好ましくないと思っているが、地元の状況等を十分検討して善処することとしたい。

保育料の値上げについて

問　保育料の値上げについてはこの不況の折、再考してもらいたいと思っているが、どうしても値上げしなければならないならば、大幅値上げだけは避けてもらいたい。

また、今後の保育園の増設計画を伺いたい。

答　値上げ問題については、いま二十三区の区長会で審議会を設け、そこで検討している。

増設については、五十三年度までに二十一園とし、保育率を一八%までに上げたいと考えている。

中小企業のよう護

問　現在の不況から中小企業者を守るため、区は公共事業を積極的に、また分割できるものは分割して発注すべきではないか

答　区も積極的に進めていきたいと考えている。ただ、分割発注にはいろいろむずかしい面があるが、できるものはやっていきたい。

また、真に血の通った老人行政を行うため、区内の南北にそれぞれ一か所の老人センターを設置する考えはないか。

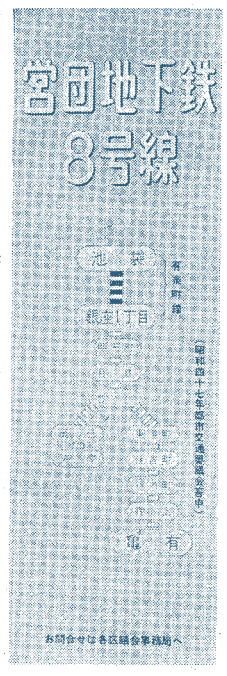
答　身障者といってもいろいろあるし、建物も狭い。また厚生会館のあり方ということにも問題がありなかなかむずかしい。

老人問題については、将来老人を含めた保養施設を考えていきたいと思っている。

写真のようなステッカーをご覧になりましたか。

区議会は、地下鉄八号線の建設運動を進めていますが、このステッカーは、そうした運動の一つとして、地下鉄が通ると予想される道路の沿線に、町会の協力を得て張りだしたものです。

都電が廃止されてから、区内の南部と北部を結ぶ交通機関が不便になっているため、この運動と積極的に取組んでいます。地下鉄八号線は、現在「有楽町線」として池袋～銀座一丁目間が営業されていますが、それをさらに、江東区から本区内の錦糸町、押上を経由し、葛飾区亀有まで延長しようというものです。そのため、区議会では、交通対策特別委員会を設置して、国、東京都、帝都高速度交通営団などに強く働きかけてきたほか、中央江東、葛飾足立など関係する各区と、「地下鉄建設促進五区協議会」を設置して、力を合わせて運動しています。区民のみなさんの理解と協力をお願いします。



請願・陳情は早めに

区民のみなさんが、区政についての要望を区議会へうったえる方法に、請願と陳情があります。どちらも文書で出していただきますが、区議会議員の紹介があるものを請願、紹介のないものを陳情とよび、いずれも、区議会で慎重に審査されます。

○請願・陳情の出し方

請願や陳情を提出しようとするときは、区政について要望することを簡潔にまとめ、二つ以上の要望がある場合は箇条書にしてください。次に要望する理由を書いてください。請願にする場合は、紹介者として区議会議員の署名または記名押印が必要です。

なお、みなさんから出された請願や陳情は、議会の審議に間に合うよう、区議会事務局で印刷し、議員に配布しますから、できるだけ早く、提出してください。

▽お問合せは、区議会事務局議事係へ　☎626三一五一内線246 247

○様式

○○○○○に関する請願
（陳情）

紹介議員
○○○○　㊞

請願（陳情）項目
一　……
二　……

請願（陳情）理由
……
……

昭和51年○月○日
請願（陳情）者
住所……
氏名　○○○○　㊞
ほか○名

墨田区議会議長
○○○○　殿

区議会のしくみ

その六

○予算

区の一年間の収入と仕事の予定をきめたものを予算といいます。三月に開かれた区議会定例会では、昭和五十一年度の墨田区の予算が審議され決定しました。区の予算は、区長がこれからの一年間に、区政をどう運営しようと考えているか、具体的に示したもので、区の財源がなににどのくらい使われるのか、細かくきめられています。

○予算特別委員会

区長が作った予算は、区議会の審議を経て決定しますが、区議会では、予算を能率よく審議するため、「予算特別委員会」を設け、細部にわたって慎重に検討しています。

今回の予算審議も、二十名の議員による「予算特別委員会」で行われました。

（予算特別委員の名簿は一面）

予算特別委員会が出した結論は、全体の会議である「本会議」においてさらに検討され決定します。

○会計年度

予算は一年間の収入と支出の見積りですが、この一年間は暦の上の一年間とは違い、四月一日に始まり翌年の三月三十一日に終るもので、「会計年度」と呼ばれています。

今回の定例会で決定した「昭和五十一年度予算」は、昭和五十一年四月一日から昭和五十二年三月三十一日までの一年間について定めたものです。

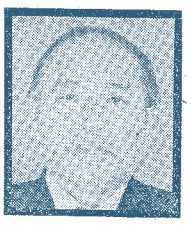
○一般会計予算　特別会計予算

予算には、一般会計予算と特別会計予算があります。

区の予算は、一般会計で経理することが原則ですが、例外として、特定の事業を行う場合に特別会計を設けることが認められています。

区では、国民健康保険事業について、特別会計を設けています。

田中副議長急逝



区議会副議長の田中増蔵氏は脳内出血のため、三月十四日午前六時急逝されました。享年六十歳。田中氏は、昭和三十四年区議会議員に当選以来、五期にわたって議員をつとめ、その間、建設委員長、校外施設調査特別副委員長、交通公害対策特別委員長などの要職を歴任し、区政に功献されてきました。

なお、田中増蔵氏の死去により、区議会議員の現員数は三十九名となりました。

祝儀、香典もだめ

公選法改正

昨年改正された公職選挙法では、金のかからない選挙を実現するため、政治家や候補者の寄付が全面的に禁止されました。たとえば、次のような行為は寄付をしたことになり、法律に違反します。住民から逆に寄付を求めることも禁止されています

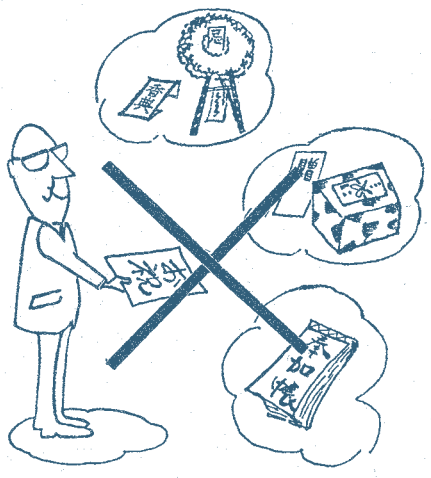
☆　お中元やお歳暮を贈ること

☆　出産、入学、卒業、就職などのお祝いに、お金や品物を贈ること

☆　結婚式のときに、お祝いのお金や品物を贈ること

☆　お葬式の際、香典や花輪供物などを贈ること

☆　町内会や老人会などの集まりに、お金を寄付したり食事やお酒を届けること



あとがき

春は「張る」から由来していると言われていますが、区の予算も決まりました。

心新らたに頑張りますので一層のご理解をお願いします。

区議会だよりについてのご意見、ご要望は、区議会事務局調査係へ　☎626－三一五一　内線245